

単元名 【旧】みんなで つかう まちの しせつ

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 身の回りにはみんなで使うものや施設があること、それらを支えている人々がいることなどが分かり、自分との関わりに気付くことができる。
 (2) 公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、自分との関わりで考えたり振り返ったりして、それらを表現することができる。
 (3) 公共物や公共施設、それらを支えている人々に関心を持ち、公共物や公共施設を大切にし、正しく利用しようとする。

標準的な展開例

02060204_001

【準備等】探検バッグ、デジタルカメラ、電子黒板、記録カード等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 みんなで使う身近なまちの施設について伝え合い、公共施設に出かける計画を立てる。</p> <p>○ 身近な公共施設を利用した経験を伝え合う。 ・ 夏休みに児童館に遊びに行きました。 ・ 図書館で本を借りたことがあります。 ・ 電車に乗って、おばあちゃんの家に行きました。</p> <p>★ 図書館に行く計画を立てよう</p> <p>○ 図書館に行く計画を立て、自分のめあてをもつ。 ・ 図書館へ行く方法 ・ 図書館ですること、見つけること ・ インタビューしたいこと</p> <p>○ 図書館を利用するときのルールやマナーを伝え合う。 ・ 挨拶をします。 ・ 静かにします。 ・ 走りません。 ・ 読んだ本は、元の場所に戻します。 ・ 本のページを折ったり破ったりしないように、大切に読みます。 ・ お礼をします。</p> <p>2, 3 図書館を利用して、気付いたことを記録カードにかいて、伝え合う。 ★ 図書館を利用しよう</p> <p>○ 図書館司書の人から、本の借り方や図書館のルールやマナーを教わる。</p> <p>○ ルールやマナーを守って、本を読んだり借りたりする。</p> <p>○ 図書館司書の人から、本に対する思いや、管理のことについての話を聞く。</p> <p>○ 図書館を利用したことを振り返り、気付いたことやもっと知りたいことを記録カードにかいて、伝え合う。 ・ 本を読んでいる人や、調べものをしている人がいました。だから、大きな声を出してはいけなかったことが分かりました。 ・ どこにどんな本があるのかがかいてあって分かりやすかったです。機械でも読みたい本が探せて便利だと思いました。 ・ 「おはなしのへや」は、何をする部屋なのか知りたいです。</p> <p>4, 5 もう一度図書館に行き、図書館のことを調べたり、インタビューしたりする。</p>	<p>・ 本単元で扱う「公共物」「公共施設」という言葉を、「みんなで使う物」「みんなで利用する場所」という表現で児童に伝えるとよい</p> <p>・ 教科書P. 57, P62, 63を参考に、自分たちの地域の公共物や公共施設を想起させる。</p> <p>・ 各教科等や他単元と関連させ、「学校の図書館と比べる」「自分たちが調べたり読んだりしたい本を探しに行く」など、図書館に行き利用する必要性を感じられるようにする。</p> <p>・ 図書館にこだわらず、駅や郵便局、公民館、博物館など、児童が繰り返し利用することのできる身近な公共施設を利用してもよい。</p> <p>・ 学校の図書館を利用するときのルールやマナーを想起させるとともに、地域の図書館には一般の人が多く来ていることを伝え、みんなが気持ちよく使うために気を付けることを考えさせる。</p> <p>・ 教科書P. 59「やくそく」を活用し、ルールやマナーを確認する。</p> <p>【評】ルールやマナーを伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 事前に活動の趣旨を伝え、見学や利用、インタビューの依頼をしておく。</p> <p>・ 図書館の職員だけでなく、利用者やボランティア活動をしている人などにもかかわることができるよう、時間帯や活動時期を考慮するとよい。</p> <p>・ 本を借りるときに、分からないことがあったら、図書館司書の人に聞くことと知らせる。</p> <p>・ 事前に図書館の利用者カードを作成しておく</p> <p>・ 本を借りる中で、どんな人が利用しているのか、本を探したり借りたりしやすくするためにどんな工夫があるかなど、図書館の「すてき」をたくさん探すように声がけをする。</p> <p>【評】図書館を利用する活動を通して「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 学校帰着後は、うがい、手洗いなど、衛生面の指導を徹底する。</p> <p>・ どんな人が利用しているのか、利用しやすくするためにどんな工夫があるのかという視点をもって、記録カードをかかせる。</p> <p>・ 幼児や高齢者、障害のある人など、多様な人々が図書館を利用していることや、みんなが気持ちよく使うためのルールやマナー、工夫があることに気付いている児童を取り上げるようにする。</p> <p>【評】記録カードへの表現や伝え合う活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 公共施設でのルールやマナーを学ぶ場と捉え学活の時間と併せて授業時間を確保するようにしてもよい。</p> <p>・ 前時に借りた本を返す機会を設け、再度図書</p>

★図書館の「すてき」を見つけよう

○活動のめあてをつかむ。

○約束を確認する。

○グループに分かれ、みんなが気持ちよく使うための、施設や働く人の工夫を調べる。

〈すてきな物〉

・入口のスロープ

・ブックポスト

・本の場所を探す機械

・小さな子が本を読む「おはなしのへや」

〈すてきな人〉

・本の整頓をしてくれている人

・本の修理をしてくれている人

・読みたい本を探してくれる人

・季節に合わせておすすめの本のコーナーを変えてくれている人

6 図書館を利用したり調べたりして見つけたことや気付いたことを、記録カードにかいて、伝え合う。

★図書館の「すてき」を伝え合おう

○見つけた「すてきな物」「すてきな人」や気付いたことを記録カードにかいて、伝え合う。

・入口にスロープがありました。車椅子やベビーカーの人も、使いやすくなっていました。

・司書の〇〇さんが、大きなカートでたくさんの本を運んでいました。〇〇さんたちのおかげで、いつも本がきれいに並んでいることが分かりました。

・図書館でカードをつくり、本を借りました。司書の方の説明が分かりやすかったです。本や新聞がたくさんありました。読みたい本がたくさんあったので、今度は家族と一緒に行ってみたいです。

館を訪れることへの意欲化を図る。

- ・みんなが気持ちよく使うための図書館の工夫を、「すてきな物」「すてきな人」の2つの視点から探すことを伝える。
- ・「すてきな物」が施設にある理由を考える場を設定し、活動の中で、気付きを深めさせるとうい。

- ・前時の活動で分からなかったことや疑問に思ったこと、さらに知りたいことなどを、職員やボランティア活動している人、利用者などにインタビューさせる。
- ・振り返りの際に利用できるように、児童の見つけた「すてき」をデジタルカメラで撮影しておくとうい。
- ・うがい、手洗いなど、衛生面の指導を徹底する。

【評】図書館について調べる活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・デジタルカメラで撮影した写真を提示し、気付きを共有する。
- ・児童の発表に対して「どうしてすてきなのかな」などと声かけをすることで、気付きの質を高められるように支援する。
- ・図書館に限らず、「公共物や公共施設が大勢の人々のために役立っていること」「それを支えている人がいること」などに気付かせるとともに、自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付かせる。
- ・校外学習での公共施設の利用の仕方について考えるきっかけとする。

【評】記録カードへの表現や伝え合う活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】